

青野原駐屯地 創設46周年記念行事

青 野 祭

青 野 原

一般来場者をWeb公募により開催

駐屯地(司令 久守1佐)は、5月29日(日)青野原駐屯地創設46周年記念行事「青野祭」を挙行政事した。

駐屯地は、国内における新型コロナウイルス感染拡大により、令和元年の創設43周年記念行事以降2年に亘り行事の開催を見送ってきたが、この度晴れて、3年ぶりに開催した。

今回の開催に当たっては、来賓を除く、一般の来場者をWeb公募による当選者及び募集対象者に限定し、行事当日は、入場の際の検温・マスク着用の呼びかけ等、新型コロナウイルス感染対策の徹底が図られた。

駐屯地司令 久守1佐は、式辞を述べる際、隊員に対し「我が国を取り巻く安全保障環境は、いよいよ厳しく、もはや『平素』ではないことは明白である」「引き続き覚悟を持って、共に精進していくことを要望する」と述べ、来賓・一般の来場者に対し「今後も青野原駐屯地は皆様と共に、『地域から信頼され



▲式辞を述べる駐屯地司令 久守1佐



▲来賓祝辞(兵庫県知事代理 橋本氏)



▲音楽演奏

る明るい駐屯地」、「郷土の誇れる精強部隊」として、皆様のご期待に応えられるよう、一丸となって益々精進していく所存です。」と3年ぶりの開催となった喜びと同時に決意を新たにされた。

記念行事は、約450名の来場者が見守る中、厳肅な雰囲気の中で行われた式典に引き続き、ドリルによる新隊員紹介、第14音楽隊による音楽演奏、格闘指導官等による格闘展示、防衛する敵を攻撃により撃破する場面を模擬した訓練展示の他、装備品展示が行われた。装備品展示では併せて「募集広報の日」として職種紹介を実施し隊員募集に寄与した。記念会食、模擬売店、試乗等、一部イベントは自粛したもの、実戦を意識した隊員たち及び器材の迫力が伝わる訓練展示や、機敏かつ勇猛な動作による格闘展示に、多くの観客が拍手を送った。



▲装備品展示



▲訓練展示



▲格闘展示



▲新隊員紹介



▲記念撮影



▲感謝状贈呈の様子

団体

シバタ工業株式会社 様

株式会社長田運輸産業 様

個人

加西市防衛協会 事務局長 丸岡 弘満 様

令和2年度・3年度 防衛モニター 小林 勉 様

西脇市立西脇病院 宮田 恵吉 様

感謝状贈呈

記念式典に先立ち、駐屯地に対し永年にわたりご貢献頂いた2団体及び個人3名の方々に、駐屯地司令より感謝状を贈呈した。

新隊員特技課程及び一般陸曹候補生課程(後期)教育開始

第8高射特科群(群長 久守1佐)は、7月4日、駐屯地体育館において「令和4年度新隊員特技課程及び一般陸曹候補生課程(後期)教育開始式」を挙行政事し、27名(新隊員特技課程13名、一般陸曹候補生課程(後期)14名、うち女性自衛官7名)の新隊員が式に臨んだ。

式辞において久守1佐は、「真に陸上自衛官としての第一歩を踏み出す教育の開始にあたり、教育担任官として『貪欲に学べ』、『同期の絆を深めよ』の2点を要望するとともに、本教育終了時には、第8高射特科群という同じ部隊の一員として、直ちに勤務することができるよう、それぞれがなすべきことをなし、修学目標を達成することを期待する。」と述べ、奮起を促した。

前期教育を修了し、自衛官としての凛々しさを身にまとった新隊員たちからは、後期教育に対する熱意を感じられた。27名の新隊員は、これから高射特科部隊の発射手又は通信科部隊の搬送通信手として必要な基礎知識及び技能を学ぶ。



▲記念撮影



▲開始式の様子



▲代表者申告の様子



「最強群」としての誇りを堅持し 任務完遂



奥村士長
(射撃手)



菊田3曹
(通信班長)



前田3曹
(射統陸曹)



磯網2曹
(発射陸曹)

343高中



富田1士
(射撃手)



南2曹
(射統陸曹)



川勝2曹
(通信副班長)



鳥越2曹
(射撃班長)

339高中

優秀隊員の紹介

第8高射特科群

令和4年度第1・2次野外行動訓練検閲



住友士長
(発射手)



松井3曹
(通信陸曹)



中川3曹
(射統陸曹)



横島3曹
(射統陸曹)

340高中



笠井士長
(発射手)



永野士長
(射撃手)



大藪3曹
(射統陸曹)



原田3曹
(発射陸曹)



森3曹
(通信班長)

338高中

第8高射特科群(群長 久守1佐)は、6月9日から13日までの間、日本原演習場において、第339高射中隊(中隊長 加来3佐)、第343高射中隊(中隊長 中野3佐)に対し「令和4年度第1次野外行動訓練検閲」を実施した。

また、6月20日から24日までの間、同演習場において、第338高射中隊(中隊長 濱本3佐)、第340高射中隊(中隊長 中瀬古3佐)に対し「令和4年度第2次野外行動訓練検閲」を実施した。

開始式において統裁官 久守1佐は、訓示において「実戦を意識し、任務を完遂せよ」「非戦闘損耗の局限」の2点を要望するとともに、「中隊長を核心として持てる力を最大限発揮して、『最強群』としての誇りを持つて、最後まで任務を完遂することを期待する」と述べた。

本検閲では、「全般防空における高射中隊の行動」を検閲項目とし、一連の状況下での「各級指揮官の指揮」「部隊の基本的行動」及び「隊員の基礎動作」について、その練成訓練の成果を評価した。

検閲受閲間、各中隊長の要望事項として、339高中は「生き残るために何をすべきか、常に考え実行せよ」、343高中は「生存・撃墜」、338高中は「生き残り任務を完遂せよ」、340高中は「SDG(持続、領域、目的)」を掲げ、検閲に挑んだ。高温・多湿の天候の中、隊員一人一人が高い意識を固持し、任務を完遂した。

検閲の総評に際し、群長は「本検閲の終始を通じ、各中隊の全隊員が、中隊長を核心として執念をもって、また、真摯かつひたむきに任務に取り組む姿を、統裁官自ら確認し大変心強く感じた次第である。」「本検閲において得た教訓を踏まえ、引き続き、中隊一丸となって更なる練度向上に邁進することを期待する。」と述べ、中隊長を核心として一致団結して検閲を終えた隊員たちの労を労い、それぞれの中隊の優秀隊員を表彰し、令和4年度野外行動訓練検閲を無事終了した。

第8高射特科群本部管理中隊(中隊長 工藤1尉)は、6月8日から10日までの間、日本原演習場において、火力配当班に対し「火力配当班訓練検閲」を実施した。

本検閲では、第339高射中隊に対する野外行動訓練検閲に併せて火力配当班に対して一連の状況下における「班の基本的行動」及び「隊員の基礎動作」について、その練度を確認し評価した。本訓練検閲実施にあたり、中隊長 工藤1尉は「組織的な対空戦闘を実施せよ」「指揮の要訣を実施せよ」の2点を要望した。

梅雨入り前の暑さに見舞われる中、班長 久保田2曹を核心として、暑さに怯むことなく一致団結し任務を完遂した。



久保田2曹
(火力配当班長)

優秀隊員の紹介



▲偽装網展張中のCCC

火力配当班訓練検閲

第8高射特科群本部管理中隊(中隊長 工藤1尉)は、6月8日から10日までの間、日本原演習場において、火力配当班に対し「火力配当班訓練検閲」を実施した。

本検閲では、第339高射中隊に対する野外行動訓練検閲に併せて火力配当班に対して一連の状況下における「班の基本的行動」及び「隊員の基礎動作」について、その練度を確認し評価した。本訓練検閲実施にあたり、中隊長 工藤1尉は「組織的な対空戦闘を実施せよ」「指揮の要訣を実施せよ」の2点を要望した。

梅雨入り前の暑さに見舞われる中、班長 久保田2曹を核心として、暑さに怯むことなく一致団結し任務を完遂した。



防衛協会活動状況

三木市・加西市・丹波市
小野市・西脇市

防衛協会総会

三木市防衛協会は6月7日三木市商工会館において、加西市防衛協会は6月27日青野原駐屯地体育館において、丹波市防衛協会は7月2日丹波市商工会館柏原支所において、小野市防衛協会は7月24日小野市伝統産業会館において、西脇市防衛協会は7月26日青野原駐屯地体育館においてそれぞれ新型コロナウイルス感染症対策の万全を講じ、総会を実施した。

各防衛協会は、令和4年度の事業計画審議等を行い、満場一致で可決された。

その後、駐屯地司令の防衛講話が行われ、参加者は熱心に聴講した。



▲総会の様子(加西市防協)



▲防衛講話の様子(三木市防協)

高校生就業体験

第308高射搬送通信中隊は、7月26日、27日(小野市内高校1名)、インターンシップの受け入れ事業所として就業体験を支援した。

1日目は、駐屯地内で体内生活体験の事前説明の後、基本教練、装備品等の見学を実施した。2日目は、宿営用天幕設営、ロープ結索法、救急法を体験させた。

今回のインターンシップにより、規律正しい自衛官の生活を直接体験することで、団体生活における各人の責任と与えられた役割を遂行することの重要性等について学び、考える機会となった。

参加した学生は就業体験を通じて職業選択の参考を得た。



▲基本教練の様子(小野市内高校)

トライやるウィーク

駐屯地は、5月30日から6月3日の間(多可町内1校、計3名)及び6月7日から10日の間(丹波篠山市内3校、計6名)「トライやるウィーク」(職業体験)の受け入れ事業所として職場体験を支援した。

5月30日から6月3日の間の職場体験は第302高射直接支援中隊が担当し、基本教練や天幕設営等を体験させ、6月7日から10日の間の職場体験は業務隊医務室の隊員による止血法の展示・実習や地図の判読・歩測を体験させた。

参加者した中学生は、働くことの意義を考える良い機会となった。



▲基本教練の様子(多可町内中学校)



▲止血法実演の様子(丹波篠山市内中学校)

令和4年度7市1町
自衛隊・防災実務者会同

第8高射特科群は、5月20日駐屯地第1会議室にて、災害対処における関係機関との連携強化を目的として「令和4年度7市1町自衛隊・防災担当者会同」を行った。会同には、群が災害派遣を担任する7市1町(小野市、加東市、加西市、西脇市、三木市、丹波篠山市、丹波市及び多可町)の各自治体防災実務者、警察、消防を招き実施した。

会同ではブリーフィング、ドローンによる映像展示、意見交換を実施後、広報資料館内の案内・説明を実施した。特にドローンによる映像展示では会場から操作員により遠隔操縦し、映像を会場のTV画面に投影して、災害派遣現場において使用する器材の状況を紹介・実演した。

会同において、自治体担当者等との意見交換、情報共有を実施し、迅速かつ的確に派遣を行うための相互理解を深めた。



▲ドローンによる映像展示

令和4年度

一般陸曹候補生課程(前期)修了式

第8高射特科群は、6月30日、駐屯地体育館において、「令和4年度一般陸曹候補生課程(前期)修了式」を挙行了した。

群長は、式辞の中で「これから、共に過ごした仲間と別れ、それぞれの職種部隊・任地において本格的に自衛官として必要な専門事項を学ぶことになります。」「どうか、初心を忘れず、ここ青野原駐屯地で培った自分自身の力を信じ、新たな仲間とともに、自衛官として第一歩を着実に力強く踏み出してください。」「と述べるとともに、結びに「これからの諸官ら一人一人の更なる活躍を心から期待しています。」「とはなむけの言葉を送った。

一般陸曹候補生たちは、7月1日から新たな任地において、約3か月各職種部隊の専門技能を習得するため後期教育に臨む。修了式の後、駐屯地で見送り行事が実施され駐屯地所属全隊員で、一般陸曹候補生の門出を祝った。



▶群長式辞



▶来賓祝辞



▶成績優秀者表彰



▶第1区隊記念撮影



▶第2区隊記念撮影

Photo Collection

～成長の軌跡～



着 隊



基本教練



射撃訓練



体力検定



戦闘訓練



25km行軍

賞詞受賞者

第30期高射直中隊	1 曹	倉松 明
第30期高射直支隊	1 曹長	渡辺 勇気
第102期高射直支援大隊(奄美)へ	3 曹	佑希
武器學校(土浦)	3 曹	山本 友哉
第107全般支援大隊(桂)へ	3 曹	村岡 和哉
自衛隊阪神病院(川西)へ	3 曹	土居 慶藏
業務隊 曹長	2 曹	中間 祥友
川内駐屯地業務隊(川内)へ	2 曹	山下 陽二
第131地区警務隊信太山派遣隊(信太山)へ	1 曹	以上令和4年8月1日付
第131地区警務	1 曹	転入
第3高射特科大隊(姫路)から	1 尉	岡田 健嗣
第397会計隊天津派遣隊(大津)から	1 尉	河内 隆浩
第7高射特科群 宮古島から	1 曹長	鯨 島宏行
第7高射特科群 中	2 曹	中根 仁
第7高射特科群(宮古島)から	2 曹	木村 航
第2高射特科群(古河)から	3 曹	天野 希美
第109教育大隊(大津)から	3 曹	中島 嘉信
第3高射特科群(飯塚)から	2 曹	中島 誠
第339高射特科群 竹松から	3 曹	藤田 祐輝
第2高射特科群 朝霞から	3 曹	宮田 翔平
第2高射特科群 朝霞から	3 曹	川村 聡
第340高射特科群 朝霞から	3 曹	吉田 和行
第343高射特科群 朝霞から	2 曹	森下 哲也
第2高射特科群 松戸から	2 曹	豆塚 秀則
第3師団司令部付隊(千僧)から	1 曹	岡崎 真幸
自衛隊阪神病院(川西)から	2 曹	吉見 信秀
第3後方支援連隊第2整備大隊(姫路)から	1 曹	矢野 順平
第3後方支援連隊第2整備大隊(姫路)から	2 曹	久 展
中部方面システム通信群	3 曹	以上令和4年8月1日付
第303中樞交換通信中隊(伊丹)から	3 曹	
中部方面システム通信群	3 曹	
第318基地通信中隊(千僧)から	2 曹	
第318基通中	2 曹	
第131地区警務隊姫路派遣隊(姫路)から	2 曹	
第131地区警務	2 曹	
第83期初級陸曹特技課程「普通英語」	3 曹	
学校長賞	3 曹	
本管中	3 曹	
第322期初級陸曹特技課程「基礎電子IV」	3 曹	
基礎電子教官室長賞	3 曹	
第82期上級陸曹特技課程「輸送業務」	3 曹	
輸送学校教育部長賞	2 曹	
業務隊	2 曹	

また青野原派遣隊長として部隊を指揮し、青野原在駐部隊の任務遂行の為に会計科支援を行うため日々努力、邁進していきます。

●令和4年6月9日生
みお
美桜ちゃん(次女)
339高中 2曹 田
本管中 3曹 田